

# KC-6000 ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

**【はじめに】**  
 点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。  
 本キットは以下の車種に対応します。  
 ・神戸市営地下鉄6000形  
 本キットは、トレーラー車専用です。  
 動力ユニット付き車に使用すると、チラツキ対策を施していないため、前進時にテールライトが、後進時にヘッドライトが、チラチラと点灯してしまいます。

**！ 注意**

- ・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
- ・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
- ・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
- ・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
- ・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
- ・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
- ・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

**【パッキングリスト】**  
 このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

**【ライトユニット】**  
 ・ライトユニット : 1個/セット

**【その他】**  
 ・説明書(本紙) : 1枚  
 ・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱

※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。  
 ※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直しているると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかりと貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

**【必要な工具】**

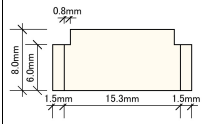


<ul style="list-style-type: none"> <li>・カッティングマット</li> <li>・ピンセット</li> <li>・ニッパ</li> <li>・プラスチックヤスリ</li> <li>・両面テープ</li> <li>・木工ボンド</li> <li>・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラビー」など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)</li> <li>・楊枝、綿棒など</li> <li>・ピンバイス(0.3mm、0.5mm、0.8mm、1.0mm)</li> <li>・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)</li> <li>・ゴム系接着剤</li> <li>・プラモデル用接着剤</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直定規</li> <li>・塗装面を保護する柔らかい布</li> <li>・ポンチ(ブッシュピンなどでも可)</li> <li>・サンドペーパー</li> <li>・マスキングテープ</li> <li>・瞬間接着剤</li> <li>・遮光用の塗料(黒または銀)</li> </ul>
--	--	--

## ● 取り付け手順

<b>1. 分解する</b>		<b>2. ライトユニットを取り付ける</b>	
<b>1-1 床板を外す</b>	<b>1-2 側窓を外す</b>	<b>2-1 スカートを取り付け</b>	
			
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	側窓を、前面窓との噛み合部をコジって外します。側窓が外れると、自然にライトレンズ、スカート、妻窓が外れます。前面窓、屋根は外す必要はありません。	スカートの台座部分に両面テープを貼ります。	ライトレンズを治具として使い、スカートをボディーにはめ、固定します。
<b>(2-1つづき)</b>		<b>2-2 ライトユニットを取り付ける</b>	<b>3. 配線する</b>
			
ライトレンズを外します。ライトレンズは使用しないので、保管します。	ライトユニットの両端に、3mm×1mmの両面テープを貼ります。	ライトユニットをはめ、表側から見てライトレンズが適切な位置にあることを確認してから、固定します。(欄外の※参照)	5mm×7mmのアルミテープを4本用意します。側窓の内側・両端、ボディとの接合部の凸部にテープを貼ります。テープの先端が窓ガラスのリップに当たるようにします。はみ出したテープを側窓の外側に折り返します。綿棒や指でよく押さえ、凸部に馴染ませます。両側の側窓の両端、計4箇所凸部に貼ります。
<b>3-2 側窓下にアルミテープを貼る</b>	<b>3-3 側窓をはめる</b>	<b>3-4 ライトユニットに配線する</b>	
			
3mm×100mmのアルミテープを2本用意します。側窓の両端の凸部をつなぐように、テープを貼ります。両側の側窓に貼ります。	妻窓をはめ、次いで側窓をはめます。側窓の両端の凸部は固定できなくなっているため、両面テープで固定します。	1.5mm×13mmのアルミテープで、側窓下からライトユニットの給電パッドまで配線します。	ライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、3mm×5mmのアルミテープを重ね貼りします。上下各1mmは、ライトユニット上側・下側に折り曲げます。※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。
<b>3-5 側窓下を接続する</b>			
			
3mm×11mmのアルミテープを2枚用意し、3-4のアルミテープから側窓下のアルミテープの上に貼り、両者を接続します。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。			

※ライトレンズの曲がり気になるときは、流し込みタイプのプラモデル用接着剤をレンズ根元に少量塗布し、台座のプラスチックを柔らかくして矯正してください。

●乗務員室仕切りを取付ける(室内灯を取り付ける場合にお好みで)

0. パーツを作る	1 棧を取り付ける	2 仕切りを取り付ける
<p>乗務員室仕切り 型紙</p>  <p>0.5mmのプラ板でパーツを作ります。 (遮光に適した黒いプラ板を分売しています)</p>	 <p>乗務員室仕切りの棧を、乗務員室扉後部の壁の中央に、両面テープで固定します。両面テープは、壁への接着面だけでなく、後側の切口までL字形に貼っておきます。</p>	 <p>乗務員室仕切りを、棧の後側に設置します。</p>

